

# 11 泌尿器科漢方薬に対する社会的関心

## — Google Trends を用いた検討 —

香川大学 医学部 泌尿器科

土肥 洋一郎、松田 伊織、本田 智子、尾崎 悠  
内藤 宏仁、松岡 祐貴、加藤 琢磨  
岡添 誉、田岡 利宜也、上田 修史、杉元 幹史

### 背景

日常診療において、患者が漢方薬を個人購入し内服しているケースにしばしば遭遇する。これは患者の漢方薬に対する関心の表れであるが、その関心を定量的に評価した報告はない。Googleなどの検索エンジンに入力される検索キーワードは社会のニーズそのものである。Google Trendsはその検索キーワードの相対的検索回数(relative search volumes:RSVs)の推移が分析できるツールである。本研究では、このGoogle Trendsを用いて、わが国の泌尿器科漢方薬への社会的関心を定量的に評価した。

### 方法

Google Trendsを用いて、2012年12月から2022年11月までの間のRSVsを分析した。検索キーワードは、「漢方」と泌尿器科診療で使用される5種類の漢方薬「猪苓湯」、「八味地黄丸」、「牛車腎気丸」、「補中益気湯」、「芍薬甘草湯」とした。線形回帰分析およびJoinpoint analysisを行い、月変化率(Monthly Percent Change: MPC)を含む経時的変化を分析した。

### 結果

「漢方」のRSVsは経時的に増加し変化点は2017年7月で、その前後のMPCはそれぞれ0.1(95% confidence interval[CI] 0.0-0.2,  $P=0.036$ )、0.6(95% CI 0.5-0.7,  $P<0.001$ )であった。さらに5種類すべての漢方薬のRSVsは経時的に有意に増加した(「猪苓湯」: $R^2=0.6734$ 、「八味地黄丸」: $R^2=0.5719$ 、「牛車腎気丸」: $R^2=0.6954$ 、「補中益気湯」: $R^2=0.7007$ 、「芍薬甘草湯」: $R^2=0.5776$ 、すべて $P<0.0001$ )。

### 結語

このGoogleTrendsを用いた検討で、漢方薬に対する社会的関心がますます高まっていることが示唆された。実臨床において、われわれ泌尿器科医も漢方医学に対する最低限の専門知識が一層求められる。